

行政報告（平成31年3月5日 議会定例会）

皆様、おはようございます、本日から11日間の定例会よろしくお願いたします。

春の風が心地よい季節となりました、今日この頃、議員各位におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、去る2月25日に平成31年第1回松田町議会定例会の招集告示をいたしましたところ、議員各位におかれましては、公私にわたり大変ご多用のところ、（全員・多数）のご出席をいただき、ここに本定例会が開会されましたことを、まずもって御礼申し上げます。

りくぜんたかた

先ず、3月11日岩手県陸前高田市の東日本大震災追悼式の案内がありましたのが、本年度は松田中学校の卒業式と重なっているため、昨年同様日帰りになりますが、私ではなく、副町長が松田町代表として参列を行う予定しております。あの震災から早くも8年目を迎えることとなり、最愛の御家族や御親族、

あいせき た

御友人を亡くされた方々のお気持ちを思うと、今なお哀惜の念に堪えません。お亡くなりになった多くの方々のご冥福をお祈りし、御遺族の皆様のお平安を心から祈念するとともに、被災された全ての方々に、心からお見舞いを申し上げてまいります。

それでは日付順に行事などを報告させていただきます。

年を開けた1月5日に、本年最初の町の行事としまして、松田町賀詞交歓会並び

えい よく

に表彰式を行いました。本年の表彰の栄に浴されたのは、一般表彰10名、感謝状を8名、2団体でございました。これからも町政に対しまして、更なるご指導、ご尽力を賜りたいと存じます。また、今年も式典終了後にふるさと大使の北川大介さんの「おもてなしコンサート」が行われ、町の寺子屋教室に通う子どもたちと一緒に童謡を歌うなど、昨年より多い、およそ400人の町民の皆さんに楽しいひと時を過ごしていただきました。

次に、1月7日には、酒匂川町民親水広場で消防出初式を挙りましたところ、議員の皆様には、寒中の中、ご高覧いただき、改めて厚く御礼を申し上げます。

消防団員のみなさまは、本業を持ちながら、日夜、火災や災害などから町民
けんしん
の生命、財産を守るため、献身的な活動をしていただいていることに、深く感謝しております。

また、統制のとれた分列行進や消防操法は、訓練の賜物であり、たいへん心強く感じられました。

続きまして、1月12日から始まりました、寄ロウバイまつりは、開花が順調に進んだことから、当初日程どおり、2月11日をもって終了しました。今年度は、過去最多来場者数となり、約2万7千人の方が来園され、甘い香りを楽しんでいただきました。実行委員のみなさまをはじめ、関係者の方におかれましては、寄地区の賑わいはもちろんのこと、松田町のPRを担っていただいていることに、深く感謝申し上げたいと思います。また、誠にお疲れ様でした。

次に、1月13日の成人式では、大人の仲間入りをした新成人112名をお迎えし、私自身もフレッシュな気持ちになりました。式典には国会議員の皆さまが来賓としてご臨席賜るとともに、多くの関係者にご参加いただきました。また、

ひやくはつてかい
今年は百八ツ火会による神輿が披露され、成人式を華やかに盛り上げていました。

続きまして、1月27日、足柄上合同庁舎をスタートし、松田町をはじめとする上地区各市町を7人のランナーでタスキをつなぐ、第73回足柄上地区一周駅伝競走大会が、14チーム出場のもと行われました。

松田町は2チームエントリーし、松田Aチームについては、26大会振りに2位となり好成績を収めて頂きました。

今年度は、第2区で快走した高校生が区間新記録でタスキをつなぎました。沿道において、町民のみなさんから心強い応援をいただき誠にありがとうございました。また、大会を大いに盛り上げていただきました、町体育協会の皆さまのご尽力はもとより、参加された選手の日ごろの練習や努力、更には、関係する全ての方との協働・連携協力によるものと感謝申し上げます。

この結果により、運動やスポーツ、また、社会参加を行う方が増える事で、健康寿命の延伸につながる事に期待しているところでございます。

続きまして、1月31日には、町内のコンビニエンスストア3店舗と、AED（自動体外式除細動器）設置に関する協定を結びました。住民の暮らしの安全と安心の確保に繋げるため、急病者の救援体制の充実と救命率の向上を目的に、24時間営業の、コンビニエンスストアとの連携と相互の協力関係に取り組んでまいります。

次に、2月9日より始まりました、第21回まつだ桜まつりにつきましては、2月中旬から下旬にかけて、満開を迎えており多くの方々に賑わっております。今年も、まつりに併せ、商店街活性化イベントとして、第3回まつだ・桜ゆめフェスタも始まっています。空き店舗の有効活用と商店街の活性化を目的に7軒が営業を行い、松田山から街なかへと人の流れをつくり、回遊型観光と経済効果を生み出す拠点として、多くの方々に賑わっていました。

また、松田在住の有志のみなさんが中心に、「松田まちなかもりあげ隊」を立ち上げ、2月23日、24日限定で、市街地での賑わいに向けて、足柄名物ドリンクバーをJR御殿場線松田駅北口のポケットパークで開催し、桜まつりを盛り上げていただきました。

今後の、松田町での経済発展の一助になることを期待しているところでございます。

続いて、2月10日に開催されました、第73回かながわ駅伝競走大会では、県内30チームが参加し、松田町は町村の部、11チーム中6位入賞、足柄上地区トップという成績で、昨年の記録も上回る好成績で終えることができました。1区の中学生は、区間3位の力走を見せてくれました。松田町を背負ってくれた選手、また、関係者の皆さまには感謝と敬意を贈ります。

続きまして、第6次総合計画の策定に向けての最終審議、第5回目の総合計画審議会を2月20日に開催しました。

審議会の委員の皆さまには、今後の町の将来像や長期的に目指すキーワードを実現するための、戦略的課題、更に6つの施策の大綱について議論を重ねていただき、この総合計画が、松田町自治基本条例の理念に基づいた施策・事業を評価し、健全な財政運営に基づいた行政運営と協働のまちづくりを、SDGsの理念

も踏まえて推進されるよう強い希望がありました。

今後、アクションプログラム（実施計画）については、実施主体としての「町民・事業者・行政等」との情報共有や参加、協働、連携協力としての取組み状況、目標数値など、毎年度、その課題や数値等の検証・評価について、PDCA サイクルをまわして、その改善等を行い、実効性のある計画として取組んでまいります。

町としても、町職員の知識と技能を向上させ、町の将来像の実現に向けての姿勢として、結果にこだわり、期限内に約束を果たすことや、オール松田・チーム松田で積極的に行動し、協働・連携協力での情報公開や情報共有のための仲間を増やしてまいる所存でございます。

次に、新しく建設していましたが、子育て世帯向け等の町屋住宅が完成し、3月2日に完成式典が開催されました。

当日は、国会議員や県議員をはじめ、町議会議員の皆様、地元自治会長や地域の代表、工事関係者などが出席し、町民の幸せづくりの第一歩となることを祈願いたしました。この住宅が、入居者と地域住民との間で融合が生まれ、地域に愛される地域コミュニティの場である事、また、官民連携によるモデル事業として、引き続き責任を持って取り組んでまいりたいと考えています。

3月3日には、本年度20回目となる、「ふくしあったかフェスタ」が町民文化センターに会場を移して、開催されました。当日は、障がい者、お持ちの方、高齢者、子どもたちなど、幅広い世代の皆さんが参加し、催し物を楽しんでいました。

また、健康づくりに視点をあてた、講演会をプレイベント、アフターイベントとして、開催しました。

それでは、議会に先立ち、貴重なお時間を拝借いたしまして、31年度予算(案)をご審議いただくにあたり、所信の一端を述べさせていただくところですが、その前に、この定例会に提案をさせていただいております条例案、補正予算案等の概要についてご説明申し上げます。

初めに、提出議案については、新規条例1件、条例の一部を改正する条例6件、指定管理者の指定1件、補正予算3件、新年度予算9件を提出させていただきました。

議案第1号 松田町新松田駅周辺整備基金条例について

新松田駅周辺整備基本構想・基本計画に基づき町負担分の財源を段階的に確保

するため、新松田駅周辺整備基金条例を設置するため、提案するものです。

議案第2号 松田町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について

長時間労働の是正のための措置として、「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」が平成31年4月1日に施行になります。民間労働法制において罰則付きの時間外労働の上限規制が導入されました。

国家公務員においても人事院規則において上限を定める措置が講じられ4月1日から施行されるのに鑑みて、地方公務員についても、均衡の原則により時間外勤務の上限を定める条例改正を行うものであります。

議案第3号 松田町税条例の一部を改正する条例について

地方税法等の一部改正に伴い、法人町民税法人税割の税率の改正、及び、軽自動車税において、現行の軽自動車税とは別に、「環境性能割」が市町村税として新たに創設、また、「環境性能割」の創設によりこれまでの軽自動車税の名称が「種別割」に改正されることに伴う条例改正を行うものです。

議案第4号 松田町有施設使用条例等の一部を改正する条例について

平成31年3月31日をもって、松田町立中学校は閉校し、統合して4月1日に新生松田町立松田中学校が開校します。関連する、松田町有施設使用条例の一部改正及び松田町立の小、中学校の設置に関する条例の一部改正、並びに、松田町学校水泳プール条例の一部改正を行うため提案するものです。

議案第5号 松田町布設工事監督者の配置及び資格並びに水道技術管理者の資格に関する条例の一部を改正する条例について

学校教育法及び技術工法施行規則の一部改正に伴い、布設工事監督者及び水道技術管理者の資格要件の変更が生じたため、条例の一部改正を行うものであります。

議案第6号 松田町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について

災害弔慰金の支給等に関する法律の一部改正に伴い、災害援護資金の貸付利率について、固定利率から低い利率での貸付けが可能となるよう条例を改正し、被災者支援の充実強化を図るため提案するものです。

議案第7号 松田町消防団条例の一部を改正する条例

日中の不足する消防団員を補填するため、消防OBの方を機能別消防団員とし

配備することで、日中の消防活動の強化をはかることを目的に、条例を一部改正し、機能別消防団員の位置づけを明確にするため、提案するものであります。

議案第 8 号 松田町創生推進拠点施設の指定管理者の指定について

松田町創生推進拠点施設の指定管理について、地方自治法第 244 条の 2 第 3 項の規定により、議会の議決を求めるため、提案をさせていただくものです。

議案第 9 号 平成 30 年度松田町一般会計補正予算（第 9 号）

主なものは年度内のほぼ最後の補正予算でございますので、事業費が確定し、不用となった予算額などを整理させていただいたものでございます。

議案第 10 号 平成 30 年度松田町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）

保険給付費における療養給付費、高額療養費が増えたことによる増額補正、並びに第三者納付金の歳入補正をさせていただくものです。

議案第 11 号 平成 30 年度松田町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）

神奈川県後期高齢者医療広域連合への保険基盤安定負担金に係る納付金の減額補正、後期高齢者医療広域連合から保険料の還付財源の雑入に係る補正をさせていただくものです。

以上が、提出条例案と 30 年度補正予算案のそれぞれの概要でございます。

続きまして、平成最後の年の議会開会にあたり、町政運営に対する所信を申し述べ、議会みなさま及び町民の皆さまのご理解とご協力を賜りたいと存じます。

議案と共にお届けしました「平成 31 年第 1 回定例議会所信表明」を基に、平成 31 年度当初予算案の概要をご説明申し上げますと共に、当面の町政に対する取り組みなどについて、所信の一端を申し述べさせていただく訳ですが、新規事業と重要事項の概要のみとさせていただくことをご了承願いたいと存じます。

はじめに、町民や議会・地域との協働・連携協力による持続可能なまちづくりを実現するために、昨年、松田町自治基本条例を制定し、常に町民の目線に立ち、町民のための町政を前進させてまいりました。

地方創生関連事業をはじめとした定住促進施策、防災対策の充実、高齢者や子育て世帯への支援など、議会議員のみなさま、町民のみなさまに多大なご支援、ご協力をいただき、地域の活力や町民福祉の向上に必要な施策を展開できたことに、この場をお借りしまして、改めて感謝申し上げます。

行政需要は多様化、複雑化し、本町を取り巻く環境は大きく変化し、少子高齢化対策や自然災害への対応、福祉医療サービスの充実、老朽化した公共施設の維持・更新など、行政課題の解決は、つきない状況となっています。

そのような中、平成31年度よりスタートします、第6次総合計画基本構想の将来像、「いのち育み 未来へつなぐ 進化つづける 故郷」の実現に向けて、私は、町民のみなさまが「笑顔あふれる幸せのまち 松田」として、誇りと愛着を持ち続けられるよう、持続可能な開発目標・

SDGsの理念を踏まえて、更なる成長と発展に取り組んでまいります。

それでは、平成31年度当初予算案の概要をご説明します。

平成31年度における町の予算規模は、一般会計では、48億8,000万円、前年度対比1億1,000万円の減、率にして2.2%の減となっております。今後、大型公共事業である松田小学校整備事業や新松田駅周辺整備事業の推進を含め、町の将来を見据えた予算編成としました。

主な事業としましては、松田小学校整備事業に要する町道3号線道路改良事業や新松田駅周辺整備事業における地域整備促進支援委託、並びに県西地区の自治体として、二番目となる立地適正化計画の策定。防災無線のデジタル化整備事業、新たな保育希望者の受け入れ環境整備事業などです。

また、国民健康保険事業などの7特別会計の総額は31億35万円で4,045万円の減、率で1.3%の減、企業会計の上水道事業会計は2億387万円で232万円の減、率にして1.1%の減となりました。

これら9会計の31年度予算総額は81億8,422万円で、前年度比1億5,277万円の減、率にして1.8%の減となっております。

次に「予算編成の基本的な考え方」でございますが、我が国の経済は、緩やかに回復の継続が期待されているものの、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響といった不安定要素に加え、相次ぐ自然災害が経済に与える影響にも十分留意する必要がある、引き続き楽観視できる状況ではありません。

町を取り巻く環境も同様であり、今後は地方交付税などに、依存し過ぎることのない、創意工夫による自立自走の行政運営が求められているところです。

このような状況の中、新年度予算の編成にあたっては、これまでも国の地方創生などの動きに対応し、積極的な事業展開を図ってきたところではありますが、人口減少や町内における産業活動の低下など、歳入環境に大きな影響を及ぼすマイナス要因が取り除かれておらず、歳出の面においても、今後、新たな建設事業等に伴う地方債償還額の増加や更新時期を迎える老朽化した公共インフラの更新等の費用捻出が課題となっており、財政運営は引き続き創意工夫が必要となることが予想されます。

この課題等を乗り越えていくための鍵となるのが、平成31年度からスタートする松田町第6次総合計画基本構想の将来像「いのち育み 未来へつなぐ進化つづける 故郷」を実現するために、アクションプログラムに掲げた施策・事業をスタートしてまいります。

今後、当面の間は、町政運営の根幹となる、自主財源の確保等については、人口減少に伴う町税収入等の減少を抑制するためにも、引き続き人口減少抑制策に取り組む、また、町が所有する土地等について、最も有効で有益な活用方法による対応を図ると共に、官民連携による新たな手法・アイデアを積極的に取り入れ、ブランド品の開発や一次産業・商工業の活性化等、新たな財源確保を図り、「稼げるまちづくり」を目指しつつ、並行して将来を見据えた、子育てや教育環境を整える為、松田小学校整備事業や新たな保育施設整備を行い、また、人口減少を抑制するべく町の魅力の向上の為に、高齢者福祉の充実の向上を始め、新松田駅周辺整備事業を着実に進める事で安定的な税収等の確保や賑わい・雇用の創出などに繋がる事業として、重点に捉え、「オール松田」で米百俵の精神を貫き、未来を担う子どもの成長を支えるとともに、持続発展的で魅力あるまちづくりの礎を築けるよう、将来を見据えた「いのち育む 未来へつなぐ 進化つづける 故郷づくりストーリーの第一歩となる」予算としました。

それでは、一般会計における、歳入、歳出について特色のあるものを中心に、ご説明申し上げます。

まず、歳入のうち町税は15億3,747万円、前年度対比924万円の減、率にして0.6%の減となりました。

固定資産税については、新築家屋の増に伴う家屋及び設備投資に伴う償却資産の増収、維持費の節約のための軽自動車への買い替えによる軽自動車税の増

収を見込んでいますが、個人住民税所得割及び退職者の減少による個人住民税退職所得、法人町民税法人税割の予定申告に係る確定申告による清算及び土地の下落修正による固定資産税の減収を見込み、全体としては減額となっております。

続いて地方交付税ですが、8億9,800万円で1,800万円の増になります。

国庫支出金は5億9,098万円で、前年度対比1億4,379万円、19.6%の減となっています。PFI法に基づく「町営住宅建設」の完了したことが減額の要因となっております。

そのほか、社会資本整備総合交付金、地方創生推進交付金、障害者福祉国庫負担金などが計上されています。

続いて県支出金ですが、3億1,263万円で、208万円、0.7%の減となっています。

主なものは、水源環境保全・再生施策市町村交付金、市町村自治基盤強化総合補助金などを計上しています。

続きまして、寄付金ですが、1億1,500万円、前年度より3,500万円の減であります。ふるさと納税等によるもので、国が示す新たなルールなど、動向を注視し、観光PRの推進や包括連携協定締結事業者と協力し、顧客の拡大、また返礼品の品目を増やすなど寄附額の積極的な受け入れを図ってまいります。

次に繰入金ですが、1億4,512万円となっております。新年度は財政調整基金から3,000万円繰入し、教育施設整備基金から、松田小学校整備事業に伴う事業経費分1億1,500万円などを繰入れ予定しております。

なお、財政調整基金の残高でございますが、31年度末残高見込みは、3億2,465万円となる見込みでございます。

最後に町債ですが、5億8,809万円で、9,511万円の減、率にして1

3.9%の減となっています。平成31年度で予定している起債につきましては、町営河内住宅外壁補修事業850万円、小田原市斎場整備事業1,820万円をはじめ橋梁長寿命化事業・道路新設改良整備事業・新松田駅南口駅前広場整備事業・防災行政無線デジタル化事業・土佐原地域集会施設建設事業、並びに臨時財政対策債の発行を予定しているところでございます。なお、臨時財政対策債については、1億8,000万円で、前年度対比1,200万円の減、6.3%の減となり、昨年引き続き減少しております。

次に歳出でございます、主な施策について予算科目順にご説明申し上げます。

始めに、議会費ですが予算額8,572万円で、前年度対比73万円、0.8%の減となっております。

続いて、総務費ですが8億5,360万円で、前年度対比4,661万円、5.2%の減となっています。

まずは、地方創生推進事業としまして、2事業を計上してございます。

1つ目の県西地域活性化プロジェクト推進事業2,138万円は、松田町を含む県西地域2市8町と神奈川県で連携して、未病改善をキーワードに地域活性化を推進する事業であります。あしがら地域や県西地域へ波及させる機能を備えていく事業であります。この中で、国際交流事業や駅周辺地域広域案内等の事業に取り組むものです。

2つ目に、女性が輝き活躍するコンパクトシティ創生事業として3,267万円、人口減少の一つの理由として示されている若い女性の減少を抑制する為の事業として、女性が輝き活躍していくまちづくりの実現に向け、地域や団体、NPO法人など、起業・創業が自走できる新しい仕組みから、拠点施設の運営に伴う支援に取り組む経費であります、特に、女性の創業支援を図り、交流人口や関係人口の確保・増加につなげていきたいと考えております。

また、本年度は、町制施行110周年を迎えますので、その記念事業に、102万円を計上しています。

続きまして、重点課題であります定住化促進事業に引続き取り組みます。定住少子化対策支援事業や移住交流事業889万円の中に含まれますが、空き家や

民間賃貸住宅の空き室の解消に向けての子育て世代等の支援、民間賃貸住宅家賃補助に96万円。定住希望者への積極的な情報提供、実際に町に住まいを定めた方や雇用を創出した企業に対する支援、町の魅力の再発見を促す同窓会開催への支援、また、公共交通対策事業として765万円を計上し、路線バスの維持確保を合わせた地域公共交通対策としまして、乗合バス運行補助事業、通学定期券助成事業、高齢者バス定期券助成事業についても、継続して行うものとしております。

そのほか、松田町の歴史に根付く「おもてなし」の文化を町一丸となり内外に向け発信・浸透させるための経費、ふるさと大使によるおもてなし公演などを通じ、人や地域のつながりを再発見することで松田の魅力としての「おもてなし」の価値を高め、交流・定住人口の増加を図るために、町外への発信を強化することを目的としたシティプロモーション・おもてなし推進事業に233万円。また、ふるさと納税に係る経費としまして5,744万円を計上し、観光PRの推進や包括連携協定締結事業者と協力しまして、顧客や関係人口の拡大、また返礼品の品目を増やすなどに取組みます。

次に、町民文化センター経費としまして、3,829万円を計上し、新しい機能を備えた複合拠点施設として歳入を見込んだ自主事業経費500万円を計上しております。

交通安全対策経費として、新しくドライブレコーダー設置費補助金として、30万円を計上しました。

また、新年度より住民の利便性及び収納率の向上を図るための経費として、税等の一部において、コンビニ収納と住民票などのコンビニ交付を実施します。

民生費ですが、予算額13億445万円、前年度対比3,974万円の増、率にして3.1%の増となっています。増額の要因としましては、障害福祉サービス等給付事業1,298万円の増額、保育所運営事業2,035万円の増額、更に、新たな小規模保育施設整備費として、767万円を計上し、その他、子育て支援センター・ファミリーサポート事業に1,794万円計上し、松田さくら保育園内に町内2か所体制となる子育て支援センター機能の継続による、子育て世帯の支援充実を図ります。そして、高齢者社会参加促進事業222万円を計上し、町所有のバスの活用による、社会参加の増加による健康増進を図る事や障

がい者のための基本的な施策はもちろん継続するほか、中学校修了まで医療費の無料化をしている小児医療費助成事業についても31年度は3,814万円の予算を計上し、事業を継続してまいります。

さらに定住化対策の一環として、ひとり親家庭等医療費助成事業に648万円、学童保育運営事業1,589万円を計上するなどして事業を継続してまいります。

なお、児童手当事業には1億3,200万円、予算計上したところでございます。

続いて衛生費です、予算額は3億3,019万円で、前年度対比5,671万円の減、率にして14.7%の減となっています。

減額の主な要因としましては、平成31年度供用開始を予定しております小田原市斎場事務等に要する経費の減となっております。

継続事業では、30年度スタートした小中学生へのインフルエンザワクチンの任意接種の費用の一部を助成する事業などを含めました感染症予防事業に3,023万円が計上しています。

この衛生費でも、新規事業として健康増進事業に足柄上地区1市5町共同による胃内視鏡検診や拡充事業として、寄地区合併処理関係事業などに引き続き取り組んでまいります。

続いて農林水産業費です、農林水産業費の予算額は9,057万円で、前年度対比1,201万円、11.7%の減となりました。

継続事業であります、寄ロウバイまつり等を開催し、寄地区に観光客を迎え入れ、交流人口を増加させるため寄自然休養村の管理に要する経費と農泊への取り組みを支援する助成金として1,148万円を計上し、豊かな環境、生態系を保全し動植物のいのちを守り、未病の改善などにより人のいのちも守る「里地里山」の活動について、エリアを拡大し里地里山活動協定地の対象団体に対し、支援する里地里山保全・再生事業に121万円を計上しました。その他には、かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画に基づき、地域水源林として位置づけた区域の私有林等の整備事業として291万円を計上させていただきました。

次に商工費ですが、予算額1億4,183万円で、前年度対比475万円の減、3.2%の減となっています。今年度も町内の商工業の発展を目的とし、松田ちよい呑みフェスティバルや店舗リノベーション費用の支援、町独自の事業として商工振興商品券発行事業に要する経費としまして、商工振興対策事業として1,054万円を計上し、また、平成31年度の桜まつり、きらきらフェスタ事業など、観光宣伝事業に1,733万円計上させていただきました。

また、継続事業の新松田駅前の観光案内・待合所等運営事業95万円を計上し、指定管理から町管理となりましたハーブガーデン管理費は3,353万円を計上しました。

続いて土木費ですが、予算額は7億6,234万円で、前年度対比2億5,760万円の減、率では、25.3%の減となっています。減額の主なものが、PFI手法を取り入れた町営住宅建設事業の終了に伴う減額です。

定住促進のために、住環境などの基盤整備は不可欠なものであります。

平成31年度は、道路新設改良に要する経費

3億297万円を計上し、安心安全な環境整備並びに住宅地等の誘導促進として、道路整備を推進してまいります。新松田駅周辺整備推進事業経費505万円、立地適正化計画策定経費700万円の予算を計上しました。新松田駅南口駅前広場整備事業（町道5号線）に、1億5,538万円、また、道路補修事業費として、町道1号線ほか路面標示設置工事や町道4号線側溝補修工事などに1,930万円を予算計上しました。

次に消防費です、予算額は3億7,228万円で前年度対比1億4,385万円の増、率にして63%の増となっております。主な増額要因といたしまして、防災行政無線デジタル化整備に向け2か年計画の1年目として、施工監理費用を含めた防災無線管理事業1億5,824万円が主なものです。

また、防災資機材等整備事業として防災倉庫備蓄品、災害時非常食購入費など、595万円を計上しています。

教育費ですが、5億7,344万円で前年度対比1億90万円の増、21.4%の増です。

新規事業としまして、中学校就学準備助成金30万円を計上し、保護者負担軽

減を図るため、新しい制服・体操服の購入費の一部を助成する事業や、松田小学校整備事業に要する経費1億1,500万円、社会教育推進事業として、町内の小学生が所属している文化団体やスポーツを対象に団体の存続を支援する事を目的にスーパーキッズ育成団体助成金50万円を計上しております。

小学校整備事業に伴う教育施設整備基金に積立金3,000万円計上し、また、中高生を対象に、文化・芸術・スポーツなど各分野においてトップランナーとして活躍することが期待される生徒にさらなる成長や技術向上のための財政支援として未来トップランナー育成・応援助成金として60万円を計上しました。

また、小中学校が土曜日等の休日に地域の方の協力により様々なプログラムを実施するための経費「土曜日の教育活動支援事業費」218万円、町制施行110周年を記念し、第2回松田氏サミット事業委託40万円を計上しました。

継続事業ではありませんが、学校ICT推進事業費として2,274万円を計上し、小学5年生から中学3年生までのすべての児童生徒にタブレットが配備されておりますので、合わせて事業を効果的にサポートするための支援員の派遣にかかる費用などであります。

そして、この教育費にもいくつかの定住化促進事業があり、給食費保護者負担軽減措置事業として、683万円、学校警備員配置事業746万円、小中学校における障がいのある児童生徒のための介助員や、通常学級でも学習支援を必要とする児童生徒に対応する学習支援員を配置する事業を継続するとともに、幼稚園2園ともに3年保育を実施し、無料送迎バスの運行を継続してまいります。

教育施設整備基金につきましては、平成31年度末の残高として、1億9,611万円となります。

公債費ですが、3億4,210万円、前年度対比1,458万円、率にして4.1%の減となりました。

最後に予備費とし本年度は、2,350万円を計上してございます。

以上が一般会計における平成31年度当初予算(案)のあらましとなります。

続きまして、特別会計、企業会計についてご説明申し上げます。

先ず、国民健康保険事業特別会計です。

予算額は、13億8,498万円で、前年度対比4,416万円、

3.1%の減となっております。平成30年度からの、国民健康保険制度の広域化により、都道府県が財政運営の責任主体となって、2年目に入ります。平成33年度の国民健康保険税の資産割廃止に向けて、本年度から経過措置を始めます。

町は、地域住民と身近な関係の中、資格管理、保険給付、保険税率の決定、賦課・徴収、保健事業等、地域におけるきめ細かい事業を担ってまいります。

町の国民健康保険は、被保険者の減少や高齢化、所得の減少、さらに軽減税率の拡充、また、税率改正などから、保険税収入は前年度対比7.4%の減となっております。

国民健康保険事業納付金については、国民健康保険制度の広域化の制度設計時の激変緩和が、引き続き図られることになっております。

制度改革の影響を鑑みながら、事業遂行、医療費の適正化に取り組んでまいります。また、新たに保険者努力支援制度による交付金の財源確保をもとに、管理栄養士を配置し、生活習慣病の重症化予防に傾注してまいります。

保健事業の地域包括ケアシステム推進事業においては、健康の見える化事業に引き続き取り組んでまいります。

次に、国民健康保険診療所事業特別会計でございますが、予算額は7,511万円、前年度対比2万円の減となっております。

国民健康保険診療所は、地域の皆様から信頼されて、身近で安心な診療が受けられる医療機関として重要な役割を担っています。引き続き嘱託の医師と県立足柄上病院の医師とで診療を行い、町民の皆様の健康と地域医療の向上に取り組んで参ります。今年度は、耐用年数を経過した事業用備品のエックス線画像読み取り装置、小型分包機の更新を予定しています。

次に、上水道事業会計についてでございます。

予算額は、2億387万円で、前年度対比232万円、1.1%の減額となっております。

水道使用料につきましては、節水志向による使用水量の減少により、3.5%

の減となっております。

資本的支出につきましては、県道72号線の改良に併せた配水管の布設替工事と、神山配水池緊急遮断弁更新工事を予定しております。

引き続き、安全でおいしい水の供給と非常時に対応できるよう取り組んでまいります。

次に、寄簡易水道事業特別会計についてでございます。

予算額は、5,591万円で、前年度対比181万円、3.3%の増額となっております。

歳入につきましては、水道使用料が前年度対比0.7%の減となりますが、歳出につきましては、住民の皆様が安心して暮らせるよう、安定した供給を行うために必要な更新工事等を予定しております。

次は、下水道事業特別会計についてでございます。

予算額は、3億1,256万円となり、前年度対比1,617万円、4.9%の減額となっております。

快適な暮らしを営むための生活環境の向上と河川環境の保全に向けて計画的に下水道の整備及び維持管理に取り組んでおります。なお、現在の整備率は、89.8%になっています。

歳入のうち、下水道使用料は、前年度比300万円の増となっています。また、一般会計からの繰入金1億3,000万円は町債の償還に充てております。

主な歳出につきましては、流量計更新工事ほか、経営戦略策定業務委託等を予定しております。

このほか、歳出の大きな割合を占めている元利償還金については、24年度の町債の借り換えにより支出を抑制し、また、平成29年度に料金改定を実施したことにより、一般会計からの繰入金への依存割合を削減させました。今後も収支バランスを勘案し、健全な運営に向けて、議員の皆様のご意見をいただきながら進めていきたいと考えております。

続いて、介護保険事業特別会計についてでございます。

予算額は、10億7,629万円となり、前年度対比1,775万円、1.7%

の増となっております。

介護保険事業につきましては、平成30年度から平成32年度を計画期間とする「第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」がスタートしています。

介護保険制度は、計画期間に合わせ3年ごとに大きな見直しが行われ、昨年度に計画を策定しました。この計画では、高齢者を主体として、住み慣れた地域で生活を支える地域包括ケアシステムの深化・推進を重点目標とし、高齢者の自立支援と要介護状態の重度化防止、地域共生社会の実現を図るとともに、持続可能性を確保することに配慮し、適正なサービス提供をすることを目標としています。

次に、用地取得特別会計についてでございます。

予算額は、2,193万円となり、前年度同額となっております。

平成23年度に取得した籠場町有地、平成27年度に取得した旧松田土木跡地の起債に対する元利償還金を計上しております。

最後に、後期高齢者医療特別会計でございます。

予算額は、1億7,357万円で、前年度対比34万円の増となっております。

後期高齢者医療関係では、この特別会計のほかに、一般会計から後期高齢者医療広域連合へ直接支出をする広域連合事務費負担金として738万円と法定の市町村定率負担金1億2,077万円を計上しております。

以上が平成31年度当初予算（案）と当面の町政運営についての私の所信の一端をお終わります。

さて、承認を求める件、及び同意を願う件については、準備が整い、提案させていただきたいと存じます。

ご説明申し上げました諸議案につきましては、議事の進行に伴い、私をはじめ、副町長、教育長、課長等よりご説明を申し上げますので、よろしくご審議のうえ、ご議決賜りますようお願い申し上げます。

以上で所信表明並びに行政報告をお終わります。